

家畜への薬草醗酵液の活用と結果の事例

2016. 3. 9

地球家族 河合勝

最近牛と豚に薬草醗酵液を飲ませた所、良い結果事例が数々発生したことをお知らせします。

1. 2015年12月～2月 帯広 乳牛140頭

(1) 牛の飲用水 1000Lタンクに牛用醗酵液1Lを混入。牛が飲み始めてから2週間目に獣医師が牛舎を訪ねた。「この牛舎に糞の臭いがしない」と発言。

この結果牛のオーナーさんから醗酵液の作り方を教えてほしいとの要請があった。

家畜の飲用水に酸素を多くすると、糞の臭いがしなくなる。

以前与那国島で子牛に醗酵液を飲ませた。その子牛3頭をマーケットで売りに出したら最先にその子牛が売れた。買主にどうして買ってくれたのかと質問すると、「この子牛は臭いがしなかったから買うことにした」との返事があった。

(2) 牛が鼓張症…体内からガスが発生し皮膚に穴をあける病気

帯広の牛舎の牛が鼓張症となり、醗酵液を飲ませた所回復した。獣医師は「28年間医者をやっているが、この病気の牛が治ったのを見たのは始めてだ」と語った。

(3) この乳牛の牛乳の尿素と窒素成分が減り、牛乳の品質が良くなった。

(普通尿素と窒素成分は10%前後あるが、これが6～8%に減った。)

2. 熊本 武田獣医師

牛に醗酵液を飲ませたら、糞の臭いが消えた。

肺炎の牛が完全に治り、白血病の牛も元気に回復し餌を食べ始めた。

3. 沖縄

豚舎150頭の豚舎。豚の糞に醗酵液を散布した所、すぐに糞の悪臭が消えた。

豚舎の豚の鼻づらに、人の美肌用の醗酵液を散布。豚は舐めて、すぐに20頭位の豚が横にならび、俺達にも散布してくれ、とせがんだ。人間の手はこの液を散布して手を差し出すと、豚はおいしそうに手を舐める。豚舎をあとに外に出ると、150頭の豚が一斉に「ガオー」となく。3～4分ブーイングが続く。「もっとくれ」との意思表示。豚のオーナーさんはその場でこの液の醗酵方法を教えてほしいと要請があった。

4. 沖永良部島 鹿児島県和泊町

和泊町は10年以上も前から農業用の液体堆肥を町役場が醗酵して作り、希望農家に10L 100円で販売している。地球家族の自然農法を行政が採用し、農業に実践されている。

役場の課長のOBの人に牛用の醗酵液を説明。醗酵液を牛の糞に散布するとその場で悪臭が消えた。

役場のOBの人は鹿児島の大学で畜産を学んだ人。

「野菜への効果は人により認めたり、認めなかったりするが、動物はすぐに良いものは良いと態度で示すから、話が早い」と語る。

最近、牛用の飲用の醗酵液を町役場の担当者が醗酵させ、畜産業者に販売する体制が取られるようになった。沖永良部島には2000頭の牛が飼育されている。

5. 養鶏への応用

北海道千歳で、イカの内臓の堆肥を鶏に食べさせると、卵のDHAが3倍に増えた。

ベータカロチンのアスタキサンチン醗酵液を鶏に飲ませると、卵のベータカロチンが3倍となり、卵の殻の赤身も濃くなった。

DHAとベータカロチンは抗酸化力。卵は4~5ヶ月腐らない。

人の頭が良くなり、難病を治す。卵アレルギーはなくなる。等の効果が出る。

卵1個100円で売れる。その価値がある。